

令和3年度

「女性医師支援・ドクターバンク連携 近畿ブロック会議」

（令和3年11月27日） 報告

大阪府医師会

① ドクターバンクの状況報告

1. 大阪府医師会 医師無料職業紹介事業「府医ドクターバンク」

・平成5年10月1日より事業開始。

・対象は、医師会員(基本)

・費用は、無料

・実績

	求職	求人	成立
2021年度	1	4	1
2020年度	2	12	0
2019年度	6	6	0
2018年度	5	7	0
2017年度	6	0	1
2016年度	3	9	0

2. 大阪府医ニュース「案内欄」求人掲載

- ・大阪府医師会発行「大阪府医ニュース」の「案内欄」において、大阪府医師会員・会員医療機関の求人広告（医師）
- ・募集医療機関は、府内の会員医療機関に限る
- ・費用は、有料

3. 大阪府地域医療支援センター「ドクターバンク」(行政)

- 医師不足地域で働きたいという方に魅力ある医療機関を紹介
- 常勤、非常勤を問わず募集
- 出産や育児で離職された方には復職応援が受けられる病院を紹介
- 働きながら、診療能力等キャリアアップを図りたいという方も相談に応じる。

- ドクターバンク連絡先 (大阪府医療対策課)

〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目

(直通電話)06-6944-8183 (Mail) Omssc@gbox.pref.osaka.lg.jp

* 令和2年度から大阪府直営事業、令和3年10月現在、稼働なし。

② 復職・再研修支援体制について

1. 大阪府「女性医師等就労環境改善事業」

「医師の勤務環境の改善への取組」や「出産・育児・介護等により、休職・離職した女性医師等の復職支援への取組」を実施する医療機関に対する助成制度を実施

【目的】

病院が実施する「医師の勤務環境の改善への取組」や「出産・育児・介護等により、休職・離職した女性医師等の復職支援への取組」を支援することで、府内の女性医師等の離職防止や定着を図り、安定的な医師確保に資することを目的とする。

【事業概要】

病院に対し「就労環境改善事業」及び「復職支援研修事業」を実施する際に必要となる、代替医師の人件費や研修経費等の一部を補助する。

【府補助制度の概要】

(1) 補助対象医療機関

- 二次救急告示医療機関及び救命救急センター
小児科を協力科とする二次救急告示医療機関のない二次医療圏では、広域初期小児救急医療を担う医療機関の後送病院として位置付けられた病院を含む
- 総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センター

(2) 補助対象事業

- 就労環境改善事業…短時間正規雇用制度の活用
宿日直、時間外勤務の減免、オンコールの免除(複数主治医制の導入)
就労環境の改善策を検討する会議の開催
その他、医師の就労環境の改善に係る取組(例:ベビーシッターの利用、医師事務作業補助者(診療報酬の対象外)の配置 等)
- 復職支援研修事業…休職または離職から復職する際に、指導医のもとで実施する研修

(3) 補助対象経費

- ・就労環境改善事業…就労環境改善に取り組むために必要な代替職員経費
※(謝金・人件費・手当)、賃金、報償費(謝金)、旅費、需用費(消耗品費・印刷製本費)、役務費(通信運搬費・雑役務費)、使用料及び賃借料、備品購入費、図書購入費、委託料(上記経費に該当するもの)
※代替職員経費は、女性医師等の短時間勤務や宿日直免除等の利用に伴う代替医師の人件費等とし、代替として勤務した部分に限る
- ・復職支援研修事業…病院が行う復職研修に必要な指導医経費(謝金・人件費・手当)、賃金、報償費(謝金)、旅費、需用費(消耗品費・印刷製本費)、役務費(通信運搬費・雑役務費)、使用料及び賃借料、備品購入費、図書購入費、委託料(上記経費に該当するもの)

(4) 補助額 ・補助率…補助対象経費の1/2 予定

- ・補助基準額…11,140千円/年
- ・算定方法……対象経費が補助基準額を超える場合:補助基準額×1/2
対象経費が補助基準額を下回る場合:補助対象経費額×1/2

③ 女性医師のキャリアアップ支援体制について

1. 大阪府医師会「男女共同参画検討委員会」

「ブロック女性医師支援ワーキンググループ(WG)・4組織」における活動

- ・女性医師(研修医)の進路などの相談(悩み事を含む)

令和3年には、WEB(Zoom)による相談を実施(WG委員長が対応)

- ・講習会等の開催および冊子発行

令和3年3月「医師の働き方改革(男女共同参画事業)」冊子を配布

〈本会主催・講演会 過去開催〉

女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会

平成30年11月30日(金)「女性医師のキャリア形成と働き方を支えるために」

・働き方改革と意識改革ーアンコンシャス・バイアスを中心にー

工藤 眞由美 氏〔大阪大学 理事・副学長、男女協働推進センター長〕

・真の男女共同参画を目指して 恵谷 ゆり 氏〔大阪母子医療センター〕

・(女性)医師の勤務環境の整備と法 横井 盛也 氏〔弁護士〕

* 新型コロナウイルス感染症対応のため、中止

令和2年2月22日(土)「働きやすい職場を目指して」

- ・医療政策を取り巻く今日的課題 女性医療職を中心に

自見 はなこ 氏 (参議院議員、医師)

- ・女性医師が働きやすい周産期医療現場を目指して

吉松 淳 氏 (国立研究開発法人国立循環器病研究センター産婦人科部長)

- ・医師の働き方改革と女性医師

迫井 正深 氏 (厚生労働省 大臣官房審議官)

〈各WG主催・講演会 過去開催〉

- ・令和元年9月7日「女性医師の働き方の現状と課題」

講師 上家 和子 氏〔日医女性医師支援センター 参与〕

「女性医師と法律問題」 講師 田邊 昇 氏〔弁護士、医師〕

- ・令和元年6月6日「女性医師支援懇談会」 * 病院訪問

～女性医師も男性医師も働きやすい職場を目指して
語ろう！ Raconteur ～

- ・女性医師支援と働き方改革

- 平成30年7月14日「子育てに悩む若手医師への処方箋」
 - 麻酔科女性医師の働き方、大阪警察病院における取り組み
(時間年休制度)
 - 子育て支援のアウトソーシング
- 平成29年12月16日「社会で育てる未来の子どもたち」
 - 男女で考える医師のキャリアと働き方
 - 大塚製薬のダイバーシティの取組み
- 平成29年11月4日「イクメン、イクボスへの道、指南します。」
 - 医師の働き方改革に必要なものとは 等

2. 大阪府「地域医療支援センター(大阪府医療人キャリアセンター)運営事業」

- 「医師が不足する地域や診療科」に対する医師派遣等の取組をより強化するため、地域医療支援センター(大阪府医療人キャリアセンター)に関する事業を令和2年度から大阪府の直営事業として取組む。
- 「大阪府内で医学部を設置している5つの大学」や「地域の中核的な役割を担っている病院」との連携・協力のもとに構築する人材育成ネットワークの中で、個々の医師の意向も踏まえながら、適切な時期に適切な研修・指導を受け、効率的にキャリアアップが図れるように情報提供と調整を行う。